

つなぐ

防災タイムラインを作りました！



授業の概要

①避難ゲームによるイントロダクション (個人)

「あなたの選択が、未来を変える 風水害 24 MOVIE」というインターネット上の避難ゲームを各個人で実施。

②基礎知識の確認 (授業形式)

ワークシートを活用し、各クラス担任または副担任が授業形式で実施。

③避難シミュレーション (グループワーク)

与えられた条件から、時系列でどのような避難行動をとるか、グループワークを実施。各個人でのマイタイムライン作成の前段階としてシミュレーションを行った。

④マイタイムラインの作成

(1)正常性バイアスの解説 (授業形式)

マイタイムライン作成前にスライドを用い正常性バイアスの解説を行った。

(2)マイタイムライン作成前の事前確認 (個人)

生徒が自身の居住地のハザードマップを持参し、家が浸水想定区内か、土砂災害警戒区域内か、家族構成、避難先の確認を行った。

(3)マイタイムラインの作成 (個人)

風水害や気象情報・避難情報の基礎事項を確認し、個人ごとに風水害・土砂災害発生時に「いつ」「だれが」「何をするのか」など自分事として命を守る行動を考え、事前の避難行動計画を作成した。

7月21日(木)に全校生徒を対象に総合的な探究の時間で防災タイムライン作成の授業を行いました。自分の家庭について、風水害・土砂災害発生時に「いつ」「だれが」「何をするのか」自分事として命を守る行動を考え、事前の避難行動計画(防災タイムライン)を作成しました。また、みやぎ防災ジュニアリーダーで宮城県防災指導員でもある佐々木悠貴さん(3年)と門脇珠央さん(3年)が、アドバイザーとして各教室をまわり助言を行いました。

<生徒の振り返り(一部抜粋)>

●学んだこと・気づいたこと・感じたこと

- ・避難先が近いから大丈夫と思わず、避難準備をしたり情報収集をしたりすることが大切だと思った。日頃から安全な場所を把握しておくべきだと思った。自分の家はいつも鳴瀬川が危なくなったらネットでライブ映像を見るようにしているので、これは続けたい。
- ・警戒レベルがどのくらいになったら危険なのか知ることができた。鹿島台は洪水が起きやすいので避難場所を確認できて良かった。私の家は浸水も土砂災害もなさそうなので家にいたいと思う。自分の家や地域だけでなく、よく出かける場所なども念のためにハザードマップを見ておきたい。

涌高のHPでも見られます。

涌谷高校 学校だより



防災担当：津守